

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

- 1 学校名：静岡県静岡市立清水入江小学校
- 2 実施日時：2018（平成 30）年 11 月 28 日（水）11：30-14：30
- 3 対象：児童 132 名（6 年生）
- 4 派遣オリンピック：山田 政春 さん  
（男子ウェイトリフティング監督 アテネ大会出場、北京大会 9 位）  
松本 潮霞 さん  
（女子ウェイトリフティング 63kg 級 リオデジャネイロ大会出場）  
八木 かなえ さん  
（女子ウェイトリフティング 53kg 級 ロンドン大会出場、リオデジャネイロ大会 6 位）  
山本 俊樹 さん  
（男子ウェイトリフティング 85kg 級 世界選手権出場）

5 授業内容：講演、実技

2018（平成 30）年 11 月 28 日（水）に、静岡県清水市立清水入江小学校にて、ウェイトリフティングの山田政春さん、松本潮霞さん、八木かなえさん、山本俊樹さんの講演と実技体験が行われました。

清水入江小学校は、2017 年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催で行われた全国の小学 5 年生と中学 2 年生を対象としたポスターの募集企画（テーマ：「～知ろう！観よう！応援しよう！～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に抱く私の夢」）に参加するなど、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントに積極的に参加している学校です。また、今回の実践に向けて、来校するアスリートの方々のための掲示物を作成し、体育館に掲示されていました。

山田さんが司会で行われた講演では、選手の紹介と競技の紹介が行われました。ウェイトリフティングという児童にはあまり馴染みのない競技であることから、種目や勝敗の決め方、競技の進め方などを丁寧に説明されていました。また、それぞれの選手の紹介の際には、模範演技も披露されました。特に、スナッチ 158kg、ジャーク 206kg という日本記録をもつ山本さんがユニフォーム姿で登場した際には、筋骨隆々の身体を見た児童から歓声があがっていました。さらに、山本さんが模範演技で 150kg に挑戦する前は、広い体育館が静まりかえり、児童の「せーの」という掛け声とともに 150kg を一気に持ち上げた際には、とても大きな歓声があがっていました。八木さんは、その様子を見ながら、実際のウェイトリフティングの試合会場も、同じような緊張感と歓声に包まれている、と説明していました。

模範演技の後は、実際に児童がバーベルを持ち上げる実技体験が行われました。最初に、代表児童と先生による 150kg のバーベルを持ち上げるチャレンジが行われました。6 年生の男の子 3 人でも 150kg を持ち上げるのは大変で、見ている児童から「頑張れ」と大きな声援が送られていました。さらに、2 人の先生で 150kg を持ち上げるチャレンジでは、体を気遣いながらも一生懸命にバーベルを持ち上げる先生方の姿が印象的でした。続い

て、子ども用の 8kg のバーベルを持ち上げるチャレンジを全ての児童が体験しました。軽々と持ち上げる女子もいれば、腕を震わせながら必死に持ち上げる男子もあり、会場は成功するたびに歓声に包まれていました。

講演と実技指導の後は、給食の時間を利用した交流活動が行われました。6年生の各クラスに1人ずつアスリートの方々が訪問し、一緒に給食を食べながら会話を楽しんでいる様子でした。

## 6 授業の様子



【 オリ・パラポスター 】



【 児童が作成した掲示物 】



【 自己紹介 】



【 模範演技 】



【 児童3人で150kgにチャレンジ 】



【 先生2人で150kgにチャレンジ 】



【 児童1人で50kgにチャレンジ 】



【 教室で給食を食べながら交流 】